

2011 年度 事業報告案

1. 概観

「子どもとともに子どもに対する暴力をなくす」という方針のもとに以下の事業を進めました。

[事業]

- 2010 年度の終わりにカンボジアのスパイリエン州で 5 年間実施してきた「子どもの人身売買・児童労働防止事業」の評価を受け、課題を解決するためにフォローアップ事業として能力強化を行うとともに啓発活動、生計向上、通学支援を行いました。
- 具体的には、学校を拠点とした子どものネットワークのメンバーの子どもたちの啓発教材が足りないという声に応えるために、子どもの権利を絵で説明したピクチャーカードやポスターを支給したり、啓発する力を高めるために、各コミュンから子どもたちの代表にトレーニングに参加してもらい、より効果的に住民にアピールするような啓発活動を実施できるよう、劇の手法を学ぶ機会を提供しました。
- 子どもを出稼ぎに出すリスクの高い家庭に対し、魚の養殖を始めることができるように、養殖の技術を研修したり、魚の卵を支給したりすることを通じ生計向上を支援しました。
- 出稼ぎのリスクが高い子どもたちに対して通学支援をするために、文房具とお米を支給しました。
- 2011 年にシーライツの事業地スパイリエン州も大きな洪水被害に見舞われたため、子どもたちが出稼ぎに出されないように緊急支援と復興支援を行いました。
- スパイリエン州の中でもタナオコミュンから物乞いに出される子どもの数が圧倒的に多いためにこの地域から物乞いを減らす新事業を立案し、外務省の NGO 連携無償資金事業に申請を進めていましたが、昨年度この事業に対する応募が多数あったため外務省の資金が不足し、次年度に再申請となりました。そこで、JICA 草の根パートナー事業に応募しましたが、残念ながら不採択となりました。
- アフェシッパへの保育事業を継続し、人身売買や性的搾取の被害に遭った女性の自立を支援しました。
- 日本からカンボジアへ渡航する旅行者を対象に、ストリートチルドレンを守るためのアクションについて広めるチャイルドセーフ・ネットワーク・キャンペーン事業を継続しました。

[組織運営]

- 2011 年 7 月から 2012 年 2 月まで JICA の組織力アップ人材育成研修に参加しました。甲斐田代表理事が主に参加したのですが、一部に渡邊理事およびスタッフの小和瀬が参加し、特に「伝わる広報」について学んだほか、資金調達における企業に対するはたらきかけについて学ぶために実際に企業訪問をしました。
- また、この研修の一環として、JICA のアドバイザー派遣制度を利用し、ジャングルコアという広報面において NGO を支援する会社からアドバイザーを派遣してもらいました。
- この研修の過程で理事やスタッフと SWOT 分析を行い、団体の「売り」をじっくり考え、コンセプト、ステイトメント、キャッチフレーズが決められました。
- シーライツは子どもの権利に基づいて活動していますが、「権利」という言葉がまだ社会では受入れられにくい面があるため、最初の入口としてはこの言葉を使わずにアピールしていくものとして「子どもにやさしい社会」をコンセプトとしていくことが決められました。キャッチフレーズは「あの子にもこの子にも笑顔でいてほしい」となりました。
- それらをもとにイベントちらしやマンスリーサポーターのちらしを作成し、マンスリーサポーター申込書が含まれる団体パンフレットの作成を始めました。
- 広く支援者を募ることを目的とした新しい試みとして、若者に人気のある土井香苗氏や安田菜津紀氏をお招きし、チャリティ・トークや写真ワークショップを開催しました。
- 昨年 7 月からより多くのボランティアに活動を担ってもらうためにボランティアミーティングを月一回開きました。
- 昨年度より個人会員が 2 名増え 153 名に、マンスリーサポーターは昨年 3 月末時点で 74 名で

あったのが 2012 年 3 月末時点で 87 名に増えました。

2. 開発途上地域の子どもの支援事業

(1) カンボジア・プロジェクト

① スバイリエン州の子どもの人身売買及び児童労働防止事業

パートナー団体：HCC 主な助成・寄付：浄土宗平和協会、一如社、ラッシュュジャパン、WE21 ジャパン、NTT 西日本労働組合、サッポロビール労働組合、ほか。

・啓発活動：人身売買・児童労働防止ネットワークの能力強化のための研修実施、啓発活動の際に配布するリーフレットおよびポスター支給、啓発活動の指導、SBPN 交流研修会/啓発イベントの実施。

・自助グループ家庭への野菜栽培等の農業技術指導、魚養殖研修、牛飼育研修、子どもの通学状況モニタリング実施、小規模ビジネスの支援、貯蓄組合・牛銀行の運営能力強化。

・2010 年度に通学支援を行った家庭に米支給、文房具支給、子どもの通学状況モニタリング実施。

・研修トレーナーおよび収入向上事業担当者人件費を支援。

② 洪水緊急支援、復興支援事業

・スバイリエン州で洪水で被災した家庭 40 世帯に対し、お米、種籾、汚い水をろ過する器械を支援。

③ 保育事業 パートナー団体：アフエシップ (AFESIP、AFESIP Fair Fashion)

主な助成・寄付：WE21 ジャパン、尚絅学院大学

・保育士人件費、幼児の食費・衛生用品などの購入費を支援。

・合計 10 人の子どもたちが保育施設を利用。

(2) インド・プロジェクト

バタフライズ、CWC 支援

前年度に募集を終了した両団体への寄付金合計 271,290 円を送金。

(3) シーライツトレード・プロジェクト

【売上】

2011 年度売上 163,350 円

主な販売実績

日付	内容	場所	売上
6/12 (日)	児童労働反対世界デー・イベント	文京学院大学	8,150 円
7/2 (土)	カンボジアフェア	アセアンセンター	8,400 円
7/22 (金)	ポリカルチャーイベント	池袋レストラン	15,200 円
10/1-2 (土・日)	グローバルフェスタ JAPAN2011	日比谷公園	40,200 円
3/17 (土)	CARE WAVE AID	日本青年館	33,400 円
通年	その他イベント、ニュースレター、HP		41,500 円
通年	事業メンバーによる委託販売		16,500 円

前年度に比べて、イベントでの販売機会が増えたため、前年度比 18% 増となった。

【仕入】

アフエシップ・フェアファッション、フレンズ等の支援先 NGO の商品のほか、カンボジアの NGO の制作・販売する商品を購入。

3. 開発途上地域の子どもの権利状況に関する調査・研究・発信事業及び開発教育事業

(1) 報告会・ワークショップ開催

①報告会・ワークショップ等

日付	名称	参加人数
7/24 (日)	子どもの権利ワークショップワークショップ「子どもの声を大切にする～カンボジアの村で活動する子どもたち」講師：甲斐田代表理事 会場：大阪・HRC（ヒューマン・ライツ・センター）ビル4階	19名
10/29 (土)	C-Rights × PACE 共催セミナー 「途上国に学校を建てるだけでいいの？～学校建設の先に必要なこと」 会場：東京・東洋大学	44名
11/5 (土)	フォトジャーナリスト安田菜津紀「写真を通して伝える、子どもたちの今」 会場：東京表参道・シーズフォート	40名
12/18 (日)	フォトジャーナリスト安田菜津紀直伝！「写真」で「伝える」コツ 会場：東京下北沢・インステップライト	9名
3/31 (土)	C-Rights×フォトジャーナリスト安田菜津紀 子どもに寄り添う社会を目指してワークショップ 会場：東京大学	22名

②講師派遣

日付	名称	講師・報告者	主催
5/17 (火)	「カンボジアのこどもに笑顔を」 ～性的搾取や強制労働から守るための事業～	甲斐田代表理事	WE21 ジャパンこうほく（神奈川）
5/19 (木)	カンボジアの子ども・人身売買の現状	甲斐田代表理事	WE21 ジャパンかなざわ（神奈川）
5/29 (日)	カンボジアの子どもの人身売買・児童労働をなくす活動にかかわって	甲斐田代表理事	上智大学
10/5 (水)	カンボジアの子どもの人身売買と強制労働	甲斐田代表理事	WE21 ジャパンさかえ（神奈川）
10/15 (土)	シーライツの活動紹介とスバイリエン州での通学支援について	甲斐田代表理事	WE21 ジャパン都筑（神奈川）
10/28 (金)	Arts×Human Rights Tokyo 2011「カンボジアの子どもの人権」	甲斐田代表理事	ヒューマン・ライツ・ウォッチ
12/11 (日)	「子どもにやさしい地域社会」をつくろう	甲斐田代表理事	つるがしま子フェス市民会議
12/16 (金)	人権教育講演会「アジアの子どもの現状から人権を考える」	甲斐田代表理事	埼玉県立越生高校

③訪問受入れ

日付	団体・学校名	対応者	内容
9/8 (木)	大阪大谷大学・関西学院大学 引率者・学生、合計 23名	カンボジア 甲斐田万智子	カンボジアにおける活動 人権アプローチと評価
11/16 (水)	琉陽高校 引率者・学生、合計 7名	東京事務所 甲斐田万智子	シーライツ活動内容 子どもの人権について
2/13 (月)	青山学院女子短期大学 引率者・学生、合計 8名	カンボジア 上田美紀	カンボジア活動内容
3/23 (金)	NGO サイド・バイ・サイド 引率者・学生、合計 14名	カンボジア 上田美紀	カンボジア活動内容

④外部への協力

日付	団体	担当	内容
通年	アジア経済研究所	外部研究員（甲斐田）	児童労働研究会「児童労働における権利アプローチ」
11月から	ワールド・ビジョン・ジャパン	外部アドバイザー（甲斐田）	南三陸町の復興活動における子ども参画

(2) 広報

①会報

プロジェクトや活動の状況の報告や、子どもの権利を普及する目的で、会報 74、75、76、77 号を平均 550 部発行し、会員、寄付者、関係者などに配布した。

②取材受入れ

日程	掲載紙	内容
11 月	中国新聞	子どもの人身売買 藤井理事へのインタビュー

その他、依頼に応じて随時対応。

③執筆・投稿

日程	掲載誌・掲載本	内容
5 月	「法と民主主義」2011/5 No458 (日本民主法律家協会)	「国際子どもの権利運動・支援から —子どもの参加の権利の実現」(甲斐田)
6 月	『子どもの権利条約から見た日本の子ども』(子どもの権利条約総合研究所)	子どもの売買、子ども買春および子どもポルノグラフィに関する選択議定書に関する NGO レポートを作成して (甲斐田)
10 月	都子基金 ニュースレター	国際子ども権利センター(シーライツ)のインド・プロジェクトと今後の活動について (甲斐田)
12 月	子どもの権利条約ネットワーク ニュースレター106号	市民活動の「はじめの一步」第8回 (甲斐田)

④インターネットを通じた情報発信、ブログ

毎月末にメールアドレス登録者にメールマガジンを配信。HP のブログ、ツイッターのほかに、フェイスブックページをあらたに作成し、ソーシャルメディアネットワークを通して最新情報を発信し、これによるイベントの参加も促進できた。

(3) 出版・制作

インドのシルク産業における債務児童労働の書籍『小さな変革』は、原田積善会の寄付を通じて、100 部を配布することができた。『想像してみても～IMAGINE THAT』の在庫がわずかになり販売を中止した。

(4) イベント参加 (出展)

時期	名称	会場
6/12 (日)	めっちゃ学校行きたいねん！御堂筋ウォーク 2011 ※児童労働反対世界デー・キャンペーン賛同イベントの一環	御堂筋 (大阪)
6/12 (日)	児童労働反対世界デー・イベント NGO 活動紹介デスク出展	文京学院大学 (東京)
7/2 (土)	カンボジア・フェア ※フレンズ・ウィズアウト・ア・ボーダーJAPAN 主催	日本アセアン センター(東京)
10/1-2 (土・日)	グローバルフェスタ JAPAN2011 シーライツトレード商品と書籍の販売、トラベラーガイドのパネル展示およびストリートチルドレンについてのワークショップを行った。	日比谷公園 (東京)
3/17(土)	CARE WAVE AID 東日本大震災で被災した子どもたちのメッセージを伝えるミュージカル。販売ブース出展	日本青年館 (東京)

(5) スタディツアー

第 1 回目

期間	2011年9月4日(日)～9月10日(土) 5泊7日
参加人数	16名
訪問地	カンボジア (プノンペン、スバイリエン、シエムリアップ)
内容	3つの現地パートナーNGOの訪問、プロジェクトの視察、観光

- ・8/7(日)に事前研修会を開催した。
- ・ツアー報告を会報(76号)、HPのカンボジアだよりに掲載した。

第2回目

期間	2011年12月23日(金・祝)～12月29日(木) 5泊7日
参加人数	9名
訪問地	カンボジア (プノンペン、スバイリエン、シエムリアップ)
内容	3つの現地パートナーNGOの訪問、プロジェクトの視察、観光

- ・12/4(日)に事前研修会を開催した。
- ・ツアー報告をHPの東京だより、カンボジアだよりに掲載した。会報(77号)にも掲載予定。

4. 国連子どもの権利条約の普及事業、及び子どもの権利促進事業

(1) 子どもの権利促進事業

日付	名称	参加人数
8/6(土)	チャリティ・トーク「Human Rights 土井香苗×Child Rights 甲斐田万智子」 ゲストスピーカー：土井香苗、スピーカー：甲斐田代表理事	41名

(2) 海外からの専門家と共に福島の子どもの声を聴く

アジア子ども権利フォーラムで来日したインドのNGO バタフライズの代表・リタ・パニッカーさんとフィリピンの子どもの権利活動家・アイリーン・フォナシア・フェリサールさんをお招きし、11月22日に福島県で放射能被害のために不安に暮らす子どもたち(5歳から17歳)とセーブ・ザ・チルドレン・ジャパンの協力を得て共催で交流会をもちました。交流会ののち、郡山に行き、アイリーンさん、リタさんと共に中学生の少女の話を聴きました。(さらに、23日の午前、政府と交渉し福島から避難している子どもの一人である中学生の少女の話を二人のゲストと共に聴きました。)

また、23日にシンポジウム「子どもにやさしい社会をつくろう」を開催し、「震災後の子ども参加の復興支援について」や「放射能汚染を子どもの権利侵害として国際社会に発信していく」ことなどをテーマにスピーチをしていただきました。

子どもの権利ワークショップ・シンポジウム

日付	名称・内容	会場
11/22 (火)	福島の子どもの権利の専門家との交流会「福島の子どもの声を世界に届けよう！」 原発事故に被災した子どもの声を聴くワークショップを海外ゲストのアイリーン・F・フェリサール氏をファシリテーターにお迎えして実施(協力：子どもたちを放射能から守る福島ネットワーク、グリーン・アクション)	福島市 アックス福島
11/23 (水)	シンポジウム「子どもにやさしい社会をつくろう～スマトラ復興から学び、東日本の子どもの声を国連に届ける」 アイリーンさん、リタさんよりスピーチ。甲斐田よりワークショップとカンボジアの状況報告。40名が参加	東京 明治学院大学国際 平和研究所

2012年2月、アイリーンさんのご協力、および、子どもすこやかサポートネットのご協力により、来日中の国連「子どもに対する暴力」特別報告者でマルタ・サントス・パイスさんとともに福島の小学生の子ども(福島在住と千葉に避難した子ども)から話を聴きました。

(3) チャイルドセーフ・ネットワーク・キャンペーン事業

2010年度に、フレンズ監修のチャイルドセーフ・トラベラーガイド日本語版を改訂・発行したが、本年も引き続き、日本国内とカンボジアで日本人旅行者へ向けて旅行中に子どもを守る活動に理解と協力を呼びかける目的で配布した。配布した場所は、カンボジア大使館、各在日本カンボジア王国名誉領事館（日本）、旅行者が立ち寄るお店やレストラン、ホテル（カンボジア）。

5. 国際・国内団体とのネットワーク事業

(1) 国際・国内団体とのネットワーク事業

参加ネットワーク団体

- ・(特活)国際協力 NGO センター (JANIC) の正会員を継続
- ・児童労働ネットワークの団体正会員を継続
- ・カンボジア市民フォーラムの会員を継続
- ・(社福)大阪ボランティア協会 NPO 推進センターのパートナー登録を継続
- ・人身売買禁止ネットワーク (JNATIP) の会員を継続
- ・チャリティプラットフォーム継続
- ・在カンボジア NGO 日本人ネットワーク (JNNC) の会員を継続
- ・在カンボジア日本大使館・NGO・JICA・JBAC 連携促進会議 (ENJJ) に前半参加
- ・「国連子どもの権利委員会に個人が申し立てを出来る制度を作ろう！キャンペーン」を推進する NGO ネットワーク継続
- ・東日本大震災支援全国ネットワーク入会
- ・東日本大震災子ども支援ネットワーク入会

(2) 関係団体とのネットワーキング

日程	内容
5/29 (日)	第 1 回東日本大震災子ども支援意見交換会 (甲斐田)
6/12 (日)	児童労働反対世界デー・イベントにて、共催団体の NGO-労働組合国際協働フォーラムタスクチームの一員として企画・運営協力
6/24 (金)	震災関係・国連担当官との会合 (甲斐田)

その他、依頼や要請に随時対応。

6. その他、この団体の目的を達成するために必要な事業

(1) 理事会の運営

年 6 回理事会を開催し、理事会メーリングリストで月平均 30 回協議・情報交換を行った。

5/7 (土)	第 17 回理事会 開催場所：東京事務所 議題：2010 年度事業報告、決算案、2011 年度事業計画案、予算案、震災に関する支援について、危機管理 ほか
6/4 (土)	第 18 回理事会 開催場所：東京事務所 議題：評価の結果の共有、事業計画、組織運営計画 ほか
6/25 (土)	第 19 回理事会 開催場所：JICA 地球ひろば 議題：上半期決算、就業規則変更、健康診断についての内規 ほか
10/20 (木)	第 20 回理事会 開催場所：桜美林大学四谷キャンパス 議題：資金繰り、JICA 組織強化研修、N 連進捗状況、会計職員雇用について ほか
12/1 (木)	第 21 回理事会 開催場所：桜美林大学四谷キャンパス 議題：新事業申請先 (JICA か N 連)、下半期の事業計画、震災関連事業、組織強化と広報 ほか
1/31 (火)	第 22 回理事会 開催場所：東京事務所 議題：2012 年度の事業計画・予算案、組織強化と広報 ほか

(2) 各事務所の組織運営

東京事務所	代表理事、事務局長と2名のスタッフで業務を遂行 開所：平日9時半～17時半
カンボジア事務所	5月まで2名、6月から1名のスタッフで業務を遂行 開所：平日8時～12時、14時～17時

(3) 資金調達

①助成金

[採択]

団体名・助成金名	金額	助成内容
浄土宗平和協会	650,000円	カンボジア事業（スバイリエン州・通学支援 / 収入向上フォローアップ事業）
WE21 ジャパン（いずみ）	200,000円	カンボジア事業（スバイリエン州・通学支援 / 収入向上フォローアップ事業）
WE21 ジャパン（いずみ）	100,000円	カンボジア事業
WE21 ジャパン（都筑）	200,000円	カンボジア事業

[不採択]

団体名	申請内容
立正佼成会一食平和基金	カンボジア事業（スバイリエン州・通学支援 / 収入向上フォローアップ事業）
JICA 草の根協力事業	カンボジア事業（スバイリエン州・児童労働防止事業・収入向上事業）

日本 NGO 外務省連携無償資金協力は本申請の前に次年度へ再申請となった。

②団体大口寄付（10万円以上）

寄付者	金額	指定寄付内容
一如社	1,000,000円	カンボジア事業（スバイリエン州・通学支援 / 収入向上フォローアップ事業）
原田積善会	250,000円	書籍「小さな変革」普及配布事業
NTT 労働組合西日本本部	500,000円	カンボジア事業（スバイリエン州・通学支援 / 収入向上フォローアップ事業）
尚綱学院大学 宗教部	110,000円	カンボジア事業（アフゼシップ・フェアファッション保育士人件費）
WE21 ジャパン（こうほく）	100,000円	洪水緊急支援
	132,769円	一般寄付
サッポロビール労働組合	132,058円	一般寄付

※個人の大口寄付は、20万円以上 2名、10万円以上 2名

③会員

2011年度会員総数 個人会員153名+団体会員2

内訳

正会員合計 (前年比)	一般正会員	学生正会員	子ども正会員	
49 (20%減)	47	2	0	
賛助会員合計 (前年比)	一般賛助会員	学生賛助会員	子ども賛助会員	団体賛助会員* (口数)
104 (9%増)	80	23	1	2 (2口)

・正会員が減少、賛助会員は特に、学生賛助会員数が増加

- ・団体賛助（法人）会員は
特定非営利活動法人アークス仏教国際協力ネットワーク、都子基金
- ・2010年4月より開始した会費の口座振替制度（年1回4月振替）。3月末時点で登録者は33名。

④マンスリーサポーター

2008年に開始した毎月一口1,000円からの寄付金制度。3月末時点で登録者は87名。目標の100名には届かなかった。

⑤その他

- ・夏募金（2011年6月～9月）401,024円
- ・11月イベント開催賛同金（2011年9月～11月）85,000円
- ・カンボジア洪水緊急支援募金（2011年11月）202,451円
- ・カンボジア洪水復興支援募金（2011年12月～2月）185,000円
- ・書き損じはがきキャンペーン（2012年1月～2月）78枚

(4) 理事・職員研修

2011年7月～2012年2月 「組織力アップ！NGO人材育成研修」（JICA）
参加：東京事務所 代表理事・甲斐田

2011年10月 日本NPOセンター主催：テックスーパの集い第3回
「NPO/NGOの現場で使えるチラシのコツを学ぶ」
参加：東京事務所スタッフ（小和瀬）

2011年11月 日本NPOセンター主催：テックスーパの集い第4回
「NPO/NGOの現場で使えるチラシのコツを学ぶ」
参加：東京事務所スタッフ（小和瀬）

2012年2月 スタディツアー研究会主催：「安全なツアー 満員御礼ツアーのつくり方」
参加：東京事務所スタッフ（小和瀬）

2012年2月 電通・NPO広報向上委員会主催：「伝えるコツセミナー」
参加：東京事務所スタッフ（小和瀬）

(5) 危機管理

「セクシュアルハラスメント等を含む人権侵害防止および対策に関する規定」に基づいて理事・事務所職員に対するセクシュアルハラスメント防止の研修（講師：丹羽雅代氏）を実施。

以上